



平成 2 8 年度

下野市教育委員会点検・評価報告書

[平成 2 7 年度事業]

下野市教育委員会

2 0 1 6

目 次

1. はじめに	P 1
(1) 趣 旨	
(2) 点検評価の対象	
(3) 点検評価の方法	
2. 教育委員会議の開催状況	P 2
3. 教育委員会議における審議状況	P 3
審議状況一覧	P 4
(1) 選 挙	P 4
(2) 審議事項	P 4
(3) 報告事項	P 7
(4) 協議事項	P 9
(5) そ の 他	P 10
4. 教育委員会議以外での活動状況	P 11
5. 施策ごとの取組状況	P 15
(施策1) 次代を担う人材の育成	P 15
(施策2) 生涯にわたる学びの機会の充実	P 16
(施策3) 豊かに暮らす文化の振興	P 17
6. 評価シート総括表	P 19
7. 外部評価委員会の開催	P 19
8. 評価シート個別表	P 20
9. 外部評価委員会委員	P 33
10. 外部評価委員会による総合意見	P 33
関係資料 1. 下野市教育委員会事務局組織図	
2. 下野市教育委員会点検評価に関する条例	

1. はじめに

(1) 趣旨

下野市教育委員会では、下野市総合計画後期基本計画（平成24年度～平成27年度）」に基づき、市民と行政との協働を基調とした「心豊かに暮らせる、創造と躍進のまち」を目指し、平成26年3月に「下野市教育計画26・27年度版」を策定しました。

下野市教育計画は、「みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり」を基本目標に、①「次代を担う人材の育成」②「生涯にわたる学びの機会の充実」③「豊かに暮らす文化の振興」を3つの柱として、教育行政の様々な施策や事業を推進する上での、基本的な方向性と具体的な内容を示すものとなっています。

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会においては、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告すると共に市民に公表することとされました。

下野市教育委員会では、基本目標に沿って、具体的な教育行政の執行状況や、今後のあり方等について教育委員会自ら検証し、また、外部評価委員のご意見をいただきながら、平成20年度から点検評価を実施してまいりました。

今回で9回目となるこの報告は、平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」第26条及び「下野市教育委員会点検評価に関する条例」の規定に基づき、平成27年度の下野市教育委員会に関わる事務事業について、効果的な教育行政の推進に資するため、点検及び評価を実施した結果を報告書としてまとめました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 【抜 粋】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検評価の対象

点検評価にあたっては、下野市総合計画後期基本計画に基づく施策のうち平成27年度に実施した教育委員会所管の主な事業から、教育委員会において各課3事業（生涯学習文化課は4事業）を選択しました。そのうちの1事業は、昨年外部評価を実施したものを選択し、継続的な評価ができるようにしました。

(3) 点検評価の方法

- (ア)点検評価にあたっては、施策・事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討したうえで、今後の対応方向を記述しました。
- (イ)点検評価の客観性を確保し、教育に関する学識経験を有する外部の方々のご意見をお聞きするため、5名の委員を選任し外部評価委員会を開催いたしました。
- (ウ)教育委員会事業は各課の事業ごとに記載された点検評価シートに基づき点検評価を行い、外部評価委員会より事業ごとに文章方式で評価をいただき、総括として委員長の総合意見をいただきました。

2. 教育委員会議の開催状況

教育委員会議は、下野市教育委員会会議規則第4条第1項に基づき毎月開催の「定例会」と、同規則第4条第2項に基づき、急を要し委員長が認めた「臨時会」を開催しています。平成27年度は合計15回開催しました。

開かれた教育委員会を目指し、平成23年度から導入した「出前教育委員会」は、今年で5年目を迎え、教育委員会の審議状況や委員の活動状況等を市民の方に知っていただく重要な機会となっています。

また、委員自らが学校行事や市の行事はもとより、地域活動にも積極的に貢献することで、見える教育委員会を行動でPRしています。

- (1) 教育委員会定例会・・・・・・・・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・・・・・・・・ 3回



国分寺西小学校で開催された出前教育委員会

3. 教育委員会議における審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項及び「下野市教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、平成27年度は合計81件について審議しました。

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針 1件
- (2) 教育委員会規則・規程・要綱の制定及び改廃 40件
- (3) 職員の人事に関する事 4件
- (4) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案についての意見申出 . . . 0件
- (5) 教科用図書採択に関する事 1件
- (6) その他 35件
 - 各種委員の委嘱 27件
 - 諮問・答申 6件
 - その他 2件

※ 審議案件のほか、報告事項、協議事項、その他についても取り扱いました。

- (1) 報告事項 67件
- (2) 協議事項 16件
- (3) 討議事項 0件
- (4) その他 24件

◆下野市教育委員会委員名簿（平成27年度在籍）

職名	氏名	任期
委員長	永山 伸一	H26.3.25～H30.3.24
委員長職務代理者	三橋 明美	H24.3.25～H28.3.24
委員	前原 久	H25.4.1～H27.6.16
委員	熊田 裕子	H27.3.25～H31.3.24
委員	石嶋 和夫	H27.9.1～H29.3.31
教育長	池澤 勤	H26.3.25～H30.3.24

審議状況一覧

(1) 選挙 1件

番号	件名	協議日
1	下野市教育委員会委員長の選挙について	平成28年3月25日

(2) 審議事項 81件

番号	件名	提出日	分類(※)
1	下野市生涯学習推進計画策定に伴うアンケート調査業務標準型プロポーザル実施要領の制定について	平成27年4月20日	(2)
2	大松山運動公園拡張整備に係る民間活力導入調査業務標準型プロポーザル実施要領の制定について	平成27年4月20日	(2)
3	下野市教育委員会点検評価外部評価委員会委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
4	下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
5	下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
6	下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問について	平成27年5月21日	(6)諮
7	下野市就学支援委員会委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
8	下野市就学支援委員会への諮問について	平成27年5月21日	(6)諮
9	平成27年度下野市スクールアシスタントの解職について	平成27年5月21日	(6)委
10	平成27年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
11	下野市社会教育委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
12	下野市ふれあい学習推進委員会委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
13	下野市公民館運営審議会委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
14	下野市図書館協議会委員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
15	下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について	平成27年5月21日	(2)
16	下野市少年スポーツ指導員の委嘱について	平成27年5月21日	(6)委
17	下野市教育委員会委員の辞職の同意について	平成27年6月16日	(3)
18	教育委員会委員長職務代理者の指定について	平成27年6月16日	(3)
19	平成28年度下野市立小中学校教科用図書の採択について	平成27年7月16日	(5)
20	下野市外国語指導助手設置規則の一部改正について	平成27年7月16日	(2)
21	下野市外国語指導助手の採用に関する規程の一部改正について	平成27年7月16日	(2)
22	下野市外国語指導助手の委嘱について	平成27年7月16日	(6)委
23	下野市就学支援委員会の判定結果について(第1回答申)	平成27年9月24日	(6)諮
24	平成27年度下野市児童表彰に関する被表彰候補児童の内申について	平成27年9月24日	(6)他
25	下野市歴史文化基本構想策定検討委員会設置要綱の制定について	平成27年9月24日	(2)
26	下野市奨学金貸付条例施行規則の一部改正について	平成27年10月14日	(2)

27	下野市入学準備金臨時貸付要綱の廃止について	平成27年10月14日	(2)
28	平成28年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について	平成27年10月14日	(1)
29	下野市スクールアシスタントの解職について	平成27年10月14日	(6)委
30	平成27年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成27年10月14日	(6)委
31	下野市歴史文化基本構想策定検討委員会設置要綱の制定について	平成27年10月14日	(2)
32	下野市就学支援委員会の判定結果について(第3回答申)	平成27年11月18日	(6)諮
33	下野市社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正について	平成27年11月18日	(2)
34	下野市資料館嘱託員設置規則の一部改正について	平成27年11月18日	(2)
35	平成27年度下野市教育委員会表彰被表彰者の決定について	平成27年12月18日	(6)他
36	下野市就学支援委員会の判定結果について(第3回答申)	平成27年12月18日	(6)諮
37	下野市スクールアシスタントの解職について	平成27年12月18日	(6)委
38	平成27年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成27年12月18日	(6)委
39	下野市社会教育指導員の採用に関する規程の一部改正について	平成27年12月18日	(2)
40	下野市資料館嘱託員の採用に関する規程の制定について	平成27年12月18日	(2)
41	下野市社会教育指導員採用試験委員会及び下野市資料館嘱託員採用試験委員会規程の制定について	平成27年12月18日	(2)
42	下野市立小中学校施設の開放に関する規則の一部改正について	平成27年12月18日	(2)
43	下野市スポーツ推進計画の策定について(答申)	平成27年12月18日	(6)諮
44	平成27年度下野市スクールアシスタントの解職について	平成28年1月14日	(6)委
45	平成27年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成28年1月14日	(6)委
46	下野市立小中学校教職員評価に関する苦情相談及び苦情申立に関する取扱要領の制定について	平成28年1月14日	(2)
47	下野市史跡甲塚古墳保存整備委員会委員の委嘱について	平成28年1月14日	(6)委
48	平成28年度下野市教育相談員の委嘱について	平成28年2月19日	(6)委
49	平成28年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成28年2月19日	(6)委
50	下野市スクールアシスタント設置規則の一部改正について	平成28年2月19日	(2)
51	下野市スクールアシスタントの採用に関する規程の制定について	平成28年2月19日	(2)
52	下野市スクールアシスタント採用試験委員会設置要綱の制定について	平成28年2月19日	(2)
53	下野市教育相談員の設置等に関する規則の一部改正について	平成28年2月19日	(2)
54	下野市教育相談員の採用に関する規程の制定について	平成28年2月19日	(2)
55	下野市教育相談員採用試験委員会設置要綱の制定について	平成28年2月19日	(2)
56	下野市社会教育指導員任用候補者の承認及び委嘱について	平成28年2月19日	(6)委
57	下野市資料館嘱託員任用候補者の承認及び委嘱について	平成28年2月19日	(6)委
58	下野市スポーツ大会出場者助成金交付要綱の全部改正について	平成28年2月19日	(2)
59	平成28年度下野市教職員の人事異動について	平成28年2月25日	(3)
60	南河内中学校区小中一貫教育推進協議会設置要綱の制定について	平成28年3月17日	(2)

61	下野市学校給食食物アレルギー対応委員会設置要綱の制定について	平成28年3月17日	(2)
62	下野市就学援助費交付規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
63	下野市教育職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
64	下野市立小中学校備品管理規程の制定について	平成28年3月17日	(2)
65	下野市学校教育サポートセンター運営要綱の制定について	平成28年3月17日	(2)
66	下野市教育研究所設置条例施行規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
67	平成28年度下野市スクールアシスタントの委嘱について	平成28年3月17日	(6)委
68	平成28年度下野市立小中学校学校評議員の委嘱について	平成28年3月17日	(6)委
69	下野市立史跡公園等展示施設条例施行規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
70	下野市体育施設条例施行規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
71	下野市国分寺B&G海洋センター条例施行規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
72	下野市立小中学校施設の開放に関する規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
73	下野市スポーツ交流館条例施行規則の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
74	下野市体育施設等使用料減免規程の一部改正について	平成28年3月17日	(2)
75	下野市スポーツ推進委員の委嘱について	平成28年3月17日	(6)委
76	下野市教育委員会委員長職務代理者の指定について	平成28年3月25日	(3)
77	下野市教育振興計画の策定について	平成28年3月25日	(2)
78	平成28年度下野市外国語指導助手の委嘱について	平成28年3月25日	(6)委
79	下野市図書館基本計画の策定について	平成28年3月25日	(2)
80	下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について	平成28年3月25日	(2)
81	下野市スポーツ推進計画の策定について	平成28年3月25日	(2)

(3)報告事項 67件

番号	件名	報告日
1	行政組織の改編に伴う関係告示の整理に関する告示について	平成27年4月20日
2	行政組織の改編に伴う関係訓令の整理に関する訓令について	平成27年4月20日
3	教育委員会後援等の承認について	平成27年4月20日
4	寄附受け入れについて	平成27年4月20日
5	平成26年度学校教育サポーター事業報告について	平成27年4月20日
6	家庭教育学級の実施について	平成27年4月20日
7	教育委員会後援等の承認について	平成27年5月21日
8	平成27年度就学援助費認定状況について	平成27年5月21日
9	平成27年度中学校春季体育大会の成績について	平成27年5月21日
10	しもつけ風土記の丘資料館の入館者数について	平成27年5月21日
11	公民館の貸出について	平成27年5月21日
12	平成27年第2回下野市議会定例会の報告について	平成27年6月23日
13	教育委員会後援等の承認について	平成27年6月23日
14	平成27年度下野市外国語指導助手の解囑について	平成27年6月23日
15	平成27年度中学校春季体育大会の結果報告について	平成27年6月23日
16	平成27年度第10回下野市民体育祭ティーボール大会結果報告について	平成27年6月23日
17	平成27年度学校給食滞納状況について	平成27年7月16日
18	教育委員会後援等の承認について	平成27年7月16日
19	大松山運動公園拡張整備に係る民間活力導入調査業務標準型プロポーザルにおける企画提案者の特定について	平成27年7月16日
20	平成27年度下野市教育委員会点検・評価報告書(案)について	平成27年8月20日
21	教育委員会後援等の承認について	平成27年8月20日
22	平成27年度中学校総合体育大会の結果について	平成27年8月20日
23	とちぎっ子学習状況調査結果の報告について	平成27年8月20日
24	平成26年度一般財団法人グリムの里いしばしの経営状況報告について	平成27年8月20日
25	平成26年度下野市図書館評価報告書について	平成27年8月20日
26	平成27年第3回下野市議会定例会の報告について	平成27年9月24日
27	平成27年度全国学力・学習状況調査結果(速報)について	平成27年9月24日
28	下野市公民館設置条例の一部改正について	平成27年9月24日
29	平成27年度自治医科大学公開講座実施報告について	平成27年9月24日
30	下野市制施行10周年記念事業しもつけ市民芸術文化祭について	平成27年9月24日
31	平成27年度第10回下野市民体育祭キンボールスポーツ大会結果報告について	平成27年9月24日
32	教育委員会後援等の承認について	平成27年10月14日

33	寄附の受け入れについて	平成27年10月14日
34	平成27年度中学校新人大会の主な結果報告について	平成27年10月14日
35	平成27年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について	平成27年10月14日
36	第10回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び南河内地区スポーツフェスティバルの結果報告について	平成27年10月14日
37	教育委員会後援等の承認について	平成27年11月18日
38	寄附の受け入れについて	平成27年11月18日
39	平成27年度中学校新人大会(県大会)の主な結果報告について	平成27年11月18日
40	平成27年第4回下野市議会定例会の報告について	平成27年12月18日
41	教育委員会後援等の承認について	平成27年12月18日
42	寄附の受け入れについて	平成27年12月18日
43	下野市体育施設条例の一部改正について	平成27年12月18日
44	下野市国分寺B&G海洋センター条例の一部改正について	平成27年12月18日
45	下野市都市公園条例の一部改正について	平成27年12月18日
46	下野市立小中学校施設の開放に関する使用料条例の一部改正について	平成27年12月18日
47	下野市スポーツ交流館条例の一部改正について	平成27年12月18日
48	下野市都市公園条例施行規則の一部改正について	平成27年12月18日
49	第10回下野市南河内地区一周駅伝競走大会の結果報告について	平成27年12月18日
50	第10回天平マラソン大会の開催実施体制について	平成27年12月18日
51	全国学力・学習状況調査の分析結果について	平成28年1月14日
52	第10回下野市天平マラソン大会の結果報告について	平成28年1月14日
53	教育委員会後援等の承認について	平成28年2月19日
54	寄附の受け入れについて	平成28年2月19日
55	平成28年度教育委員会主要日程について	平成28年2月19日
56	下野市生涯学習推進計画(第二次)(案)について	平成28年2月19日
57	平成28年第1回下野市議会定例会の報告について	平成28年3月17日
58	平成27年度通学路整備要望と対応結果について	平成28年3月17日
59	教育委員会後援等の承認について	平成28年3月17日
60	平成28年度下野市学校教育計画について	平成28年3月17日
61	平成28年度教育研究所要覧について	平成28年3月17日
62	下野薬師寺歴史館開館15周年記念事業 復曲能「央戸」について	平成28年3月17日
63	下野市立史跡公園等展示施設条例の一部改正について	平成28年3月17日
64	平成28年度生涯学習情報誌「エール」の発行について	平成28年3月17日
65	下野市オープンキンボールスポーツ大会2016の結果について	平成28年3月17日
66	下野市学校教育サポートチーム設置要綱の廃止について	平成28年3月25日
67	下野市学校教育サポートチーム運営委員会設置要綱の廃止について	平成28年3月25日

(4)協議事項 16件

番号	件名	協議日
1	教育委員の下野市立小中学校教科用図書選定委員会への推薦について	平成27年4月20日
2	平成27年度教育委員学校訪問及び幼稚園訪問日程について	平成27年5月21日
3	下野市奨学金制度の見直しについて	平成27年8月20日
4	下野市の教育に関する大綱(素案)について	平成27年11月18日
5	第10回下野市教育のつどい開催計画(案)について	平成27年11月18日
6	下野市教育大綱(素案)について	平成27年12月18日
7	下野市人権推進審議会委員の推薦について	平成27年12月18日
8	問題行動への対応ルール(案)について	平成27年12月18日
9	下野市社会福祉協議会理事の推薦について	平成27年12月18日
10	下野市教育大綱(案)について	平成28年1月14日
11	問題行動への対応ルール(案)について	平成28年1月14日
12	グリムの里いしばし評議委員の推薦について	平成28年1月14日
13	平成28年度下野市学校教育計画(案)について	平成28年2月19日
14	下野市教育振興計画(素案)について	平成28年3月17日
15	下野市地域福祉計画策定委員会委員の推薦について	平成28年3月17日
16	下野市図書館基本計画(素案)について	平成28年3月17日

(5)その他 24件

番号	件名	協議日
1	下野市子ども・子育て支援事業計画について	平成27年4月20日
2	第4回教育委員会定例会の開催時間について	平成27年5月21日
3	第1回下野市総合教育会議の開催について	平成27年5月21日
4	学事視察の出欠等について	平成27年5月21日
5	平成27年度下野市教職員合同全体研修会の開催について	平成27年6月23日
6	平成27年度自治医科大学公開講座	平成27年6月23日
7	しもつけ風土記の丘資料館歴史講座	平成27年6月23日
8	しもつけ風土記の丘資料館歴史講座(第三回)について	平成27年7月16日
9	ベニバナ染め体験講座について	平成27年7月16日
10	はにわ作り講座について	平成27年7月16日
11	かんぴょうむき及びふくべ絵付け体験講座について	平成27年7月16日
12	下野市奨学金制度について	平成27年7月16日
13	第4回グリムの森フェスティバルの開催について	平成27年9月24日
14	下野薬師寺跡エゴマ灯明の会の開催について	平成27年9月24日
15	下野国分尼寺跡国指定50周年記念講演会の開催について	平成27年9月24日
16	児童家庭相談対応状況について	平成27年9月24日
17	生涯学習センターまつりの開催について	平成27年10月14日
18	平成27年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)の開催について	平成27年11月18日
19	下野市文化遺産フェスティバルについて	平成27年11月18日
20	人権教育講演会の開催について	平成27年11月18日
21	平成28年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会・研修会の開催について	平成27年12月18日
22	平成28年度第1回教職員全体研修会(教育行政説明会)の開催について(案)	平成28年2月19日
23	教職員退職辞令交付式及び着任式について	平成28年2月25日
24	下野市教育振興計画(素案)について	平成28年2月25日

4. 教育委員会議以外での活動状況

教育委員は教育委員会議以外に、学校訪問や各種行事等にも参加しました。

(1) 教育委員会連合会等への参加

栃木県市町村教育委員会連合会総会・全体会・研修会
 下都賀地区市町教育委員会連合会定例会
 下都賀地区市町教育委員会連合会学事視察
 下都賀地区市町教育委員会連合会全体研修会

(2) 学校訪問及び幼稚園訪問

国分寺中学校、薬師寺小学校、石橋小学校、国分寺西小学校、第二愛泉幼稚園



【国分寺西小学校での給食会食】



【薬師寺小学校での授業参観】

◆ 学校訪問

※各学校の児童生徒数、学級数は平成27年5月1日現在

石橋小学校	
期 日	平成27年6月29日 午後0時15分～午後4時00分
児童数・学級数	児童数 516名 学級数 19学級
訪問内容	・ 日程説明 ・ 給食会食 ・ 学校概要説明 ・ 授業参観 ・ 教職員との懇談会

国分寺中学校	
期 日	平成27年10月8日 午後0時～午後4時20分
生徒数・学級数	生徒数 507名 学級数 18学級
訪問内容	・ 日程説明 ・ 給食会食 ・ 授業参観 ・ 学校概要説明 ・ 教職員との懇談会

薬師寺小学校	
期 日	平成 27 年 11 月 9 日 午後 0 時～午後 3 時 30 分
児童数・学級数	児童数 300 名 学級数 14 学級
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程説明 ・ 学校概要説明 ・ 教職員との懇談会 ・ 給食会食 ・ 授業参観・校内巡視

国分寺西小学校	
期 日	平成 28 年 1 月 14 日 午前 11 時 45 分～午後 4 時 20 分
児童数・学級数	児童数 45 名 学級数 4 学級
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程説明 ・ 給食会食 ・ 学校概要説明 ・ 授業参観 ・ 出前教育委員会 ・ 教職員との懇談会

◆私立幼稚園訪問（市内7園の内）

第二愛泉幼稚園	
期 日	平成 27 年 10 月 8 日 午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分
児童数等	・ 定員 260 名 ・園児数 192 名 ・教職員 28 名
訪問内容	・ 幼稚園の概要、教育方針等について ・ 施設見学

◆教育福祉常任委員との懇談会

期 日	平成 27 年 11 月 18 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時
出席者	市議会教育福祉常任委員 5 名、教育委員 5 名、 教育次長、各課長、事務局
懇談内容	「特別支援教育の現状と課題」

◆保護者との懇談会

期 日	平成 28 年 2 月 19 日 午後 7 時～午後 9 時
出席者	教育委員 4 名、PTA・学校関係者 31 名、事務局
懇談内容	「各学校の地域連携の取り組みの様子について」

(3)その他

下野市採択地区教科用図書選定委員会	下野市自治基本条例検討委員会
下野市立学校給食センター運営委員会	下野市都市計画審議会
下野市生涯学習推進協議会	下野市人権推進審議会
下野市地域情報化推進会議	下野市環境審議会 他

教育委員会議以外の活動状況一覧

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問等	その他
4月	1回	学校教職員辞令交付式 教職員全体研修 小学校・中学校入学式 小中校長会		県市町村教育長会議 県教育委員会教育長人権教育連絡会議 県市町村教育委員会連合会教育長部会総会 下地区市町教育委員会連合会定例会 市スポーツ推進委員会総会 下地区教育長部会 市地域婦人会総会 市教職員協議会 市文化協会総会
5月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 小中校長会		市図書館協議会 市体育協会評議員会総会 関東地区都市教育長協議会総会 市PTA連絡協議会総会 市スポーツ少年団総会 市青少年育成市民会議総会 下地区教育長部会 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会
6月	2回	小学校運動会・中学校体育祭 市民体育祭テニール大会 小中校長会	緑小学校 石橋小学校	市教科用図書選定委員会 市ふれあい学習推進委員会 グリムの里いしばし評議委員会 市図書館協議会 生涯学習推進協議会 下地区教育長部会 市警察署管内少年指導委員会総会 市点検評価委員会 市国分寺給食センター運営委員会
7月	1回	B&Gミントライアスロン大会 市小学校陸上記録会		市点検評価委員会 下都賀地区教育委員会連合会学事視察 下地区教育長部会 市教科用図書選定委員会 図書館協議会 生涯学習推進協議会 市PTA連絡協議会総会 市社会教育委員会 下地区市町教育委員会連合会全体研修会
8月	1回	市幼稚園連合会親子フェスティバル 教職員全体研修会 小中校長会		生涯学習実施機関長会議 市就学支援委員会 下地区教育長部会

教育委員会議以外の活動状況一覧

月	教育委員会議	各種行事・大会	学校訪問等	その他
9月	1回	小学校運動会・中学校体育祭 市民体育祭キンボール大会 敬老会 市小中学校音楽祭 小中校長会 グリムの森フェスティバル		下地区教育長部会 県民スポーツ大会選手結団式 文化財保護審議会
10月	1回	市民体育祭運動会 小中校長会 市民体育祭 市民芸術文化祭	国分寺中学校 第二愛泉幼稚園 児童表彰	下都賀地区教育長部会 人事問題協議会 県市町村教育委員会連合会市教育長部会 下都賀地区教頭会研究発表会
11月	1回	小中校長会 小・中学校文化祭・市民文化祭	薬師寺小学校 児童表彰	栃木県市町村教育委員会連合会総会研修会・全体研修会 第24回栃木教育振興大会 市就学支援委員会 歴史文化基本構想策定検討委員会 市議会常任委員との教育懇談会 下地区教育長部会
12月	1回	市人権教育講演会 南河内地区一周駅伝競走大会 スポーツ少年団SHIPS大会		下地区教育長部会 公民館運営審議会
1月	1回	天平マラソン大会 成人式 賀詞交歓会 市教育のつどい 小中校長会	国分寺西小学校 (出前教育委員会)	市図書館協議会 下地区教育長部会 人事問題協議会 B&G全国サミット
2月	2回	各館公民館まつり		下地区教育長部会 下地区市町教育委員会連合会定例会 教育委員と保護者との懇談会 市国分寺給食センター運営委員会 市ふれあい学習推進委員会 薬師寺保存整備検討委員会
3月	2回	小学校・中学校卒業式 薬師寺史跡まつり 下野オープンキンボールスポーツ大会 小中校長会 学校教職員退職辞令交付式		市生涯学習推進本部 公民館運営審議会 図書館協議会

5. 施策ごとの取組状況

平成27年度に実施した事務事業については、平成20年3月に策定された「下野市総合計画」の基本施策に基づき、次に掲げる3つに分類しました。

- (1) 次代を担う人材の育成
- (2) 生涯にわたる学びの機会の充実
- (3) 豊かに暮らす文化の振興

教育委員会においては、各課3または4事業を選定し、「平成28年度 教育委員会の点検・評価シート（平成27年度事業）」を作成し、内部で点検・評価を行い、その後、外部評価をいただき意見をまとめました。

(施策1) 次代を担う人材の育成

<基本方針>

今日、子どもを取り巻く社会環境は日々変化しています。教育現場においても様々な問題や課題があり、それらを適切に判断し解決していくことが必要です。また、次代を担う子どもたちの育成のためには、学校・家庭・地域の三者が一体となり、共通理解のもと教育活動を進めていくことが大切です。「下野市学校教育計画」における学校教育目標を達成し、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育成するために、教職員のさらなる資質向上に努め、児童生徒の学力向上と豊かな心、健やかな体の育成に努めます。

小・中学校の配置については、児童・生徒数が減少傾向にあることから、当市にふさわしい良好な教育環境の充実を目指して、学校規模の適正化を推進していきます。

また、児童の自己有用感を育むための「児童表彰」については、下野市の特色ある取組みの一つであるため、継続的に実施していきます。

学校等の施設については、児童生徒や地域の避難場所としての安全性を確保するとともに、老朽化等に対応した施設整備を進めていきます。

<H27年度事業一覧>

教育総務課	<ul style="list-style-type: none">○教育委員会運営事業○教育総務運営事業○学校適正配置推進事業○奨学金貸付事業○児童表彰事業○小中学校施設管理事業○小中学校施設整備事業○小中学校空調設備設置事業○小中学校改修事業
-------	---

<p>教育総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食施設改修事業 ○小学校屋内運動場改修事業 ○小中学校給食管理事業 ○学校給食センター管理事業 ○学校給食推進事業 ○小中学校共通管理事業 ○小中学校コンピュータ管理事業
<p>学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育運営事業 ○児童生徒就学援助費事業 ○スクールアシスタント配置事業 ○幼稚園・保育園・小学校連携事業 ○教育研究振興事業 ○下野子ども力発動プロジェクト事業 ○エス・アンド・ユーコラボ事業 ○児童生徒英語教育推進事業 ○小中学校教科用図書選定事業 ○ユースサポート事業 ○特別支援教育推進事業 ○学校教育サポート事業 ○学校食育推進事業 ○小中学校共通管理事業 ○小学校教科書改訂事業 ○確かな学力と芸術推進事業

(施策2) 生涯にわたる学びの機会の充実

<基本方針>

市民が生涯にわたって豊かな人生を送ることができる下野市の実現を目指し、生涯学習による「ひとづくり」と「まちづくり」を行います。

「ひとづくり」では、個人の向上に必要な学習を提供し、生活課題や健康、生きがいづくりを、「まちづくり」では、社会の向上に必要な学習を提供し、市政への参画と協働、地域コミュニティの醸成や地域課題解決を支援します。

また、市の将来を担う子どもたちの健全育成は、特に重要な課題となっています。青少年の健全育成に必要な学習の提供を行うとともに、学校や家庭、地域が連携した地域全体での取り組みを支援していきます。

生涯にわたるスポーツ活動を通して、市民一人ひとりの健康維持や体力づくりと豊かな地域社会の実現に向け、既存施設を十分活用しながら、誰もが

親しむことができるスポーツの振興を図ります。

スポーツ施設の整備と機能の充実については、利用者動向や維持経費を考慮しながら、適正な配置と機能の充実を進めるとともに、市民の一体感を醸成するスポーツ活動の機会の提供に努めます。

また、市民が集い多目的のスポーツ・レクリエーション活動ができる施設整備を図るため、大松山運動公園を拡張し、市民がスポーツを身近に楽しむことができるようスポーツ活動拠点となる本格的な運動公園の整備を進めます。

<H27年度事業一覧>

<p>生涯学習文化課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育総務事務事業 ○生涯学習推進事業 ○生涯学習推進計画策定事業 ○社会教育事業 ○青少年育成事業 ○人権教育事業 ○市民情報化推進事業 ○生涯学習による協働のまちづくり支援事業 ○家庭教育事業 ○生涯学習情報センター管理運営事業 ○公民館管理運営事業 ○図書館管理運営事業 ○公民館施設修繕事業 ○図書館管理運営事業 ○図書館共通管理運営事業 ○図書館施設修繕事業
<p>スポーツ振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育総務事務事業 ○スポーツ推進計画策定事業 ○スポーツ振興事業 ○市民体育祭開催事業 ○総合型地域スポーツクラブ活動支援事業 ○体育施設管理事業 ○体育施設改修事業 ○大松山運動公園拡張整備事業 ○LED太陽灯設置事業

(施策3) 豊かに暮らす文化の振興

<基本方針>

文化芸術を創造し、享受し文化的な環境の中で生きるとは、世代を超えた市民の変わらない願いです。

また、文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高め、人と人との心のつながりや相互に理解し、尊重し合う心豊かな社会を形成するものです。

さらに、それ自体が固有の意義と価値を有するとともに、自己認識の基点となり、文化的な伝統を尊重する心を育てるものでもあります。

市民と地域が自らの手で進める伝統文化の伝承、文化活動を支援していきます。

本市に受け継がれた埋蔵文化財については、開発行為に伴う発掘調査を行うことにより、記録として保存され、市民共有の遺産となります。文化遺産については、市民が広くその価値を認識できるよう、史跡見学会、各種講座、体験学習など活動の機会の充実に努めます。

<H27年度事業一覧>

生涯学習文化課	<ul style="list-style-type: none">○芸術文化事業○グリムの森・グリムの館管理事業○文化財保護事業○デジタルミュージアム運営事業○下野薬師寺跡保存整備事業○下野国分寺跡保存整備事業○国分寺尼寺跡保存整備事業○甲塚古墳保存整備事業○歴史文化基本構想策定事業○下野薬師寺歴史館管理運営事業○下野市テーマ館管理運営事業○しもつけ風土記の丘資料館管理運営事業○しもつけ風土記の丘資料館整備事業
---------	--



教職員2・3年目研修



しもつけ市民芸術文化祭

6. 評価シート総括表（H27年度事業）

課 名	事 業 名	事業費(千円)	ページ
教育総務課	奨学金貸付事業	2,340	20
	教育のつどい事業	271	20
	小中学校整備改修事業	461,192	21
学校教育課	下野子ども力発動プロジェクト事業	1,013	23
	教育研究振興事業	2,280	23
	エス・アンド・ユーコラボ事業	596	24
スポーツ振興課	保健体育総務事務費	8,723	26
	大松山運動公園拡張整備事業	562,267	26
	体育施設改修事業	137,490	27
生涯学習文化課 (生涯学習グループ)	生涯学習推進計画策定事業	1,234	29
生涯学習文化課 (文化グループ)	芸術文化事業	5,026	29
	甲塚古墳保存整備事業	926	30
	歴史文化基本構想策定事業	1,078	30

7. 外部評価委員会の開催

上記の事業について外部評価委員会を開催（平成28年6月29日・7月6日）

- 外部評価委員会への全体説明と点検評価
- 外部評価委員による協議・まとめ

8. 評価シート個別表（次ページより）

平成28年度 教育委員会の点検・評価シート(平成27年度事業)

教育総務課

(1)奨学金貸付事業 (事業費:2,340千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	未来を拓く子ども達を育む、より良い教育環境の実現
重点目標	教育の振興と教育環境の充実
事業内容	経済的理由により修学困難な学生・生徒に対し、無利子で奨学金の貸付を行うことにより、教育の機会均等を図るとともに有能な人材を育成し、下野市の教育を進展させる。
実施状況	<p>下野市奨学金貸付条例等に基づき、11月に募集(1か月間)を行い、12月中旬に奨学金貸付審査会を開催し7名の奨学生を決定した。定員枠に満たなかったため1月に追加募集を行い、審査会を2月に開催、さらに4名の奨学生を決定した。</p> <p>奨学金の制度利用者は、平成23年度の11名をピークとして新規貸付が年々減少し、ここ数年は2名程度で推移していた。この状況を打開すべく、近隣自治体の取組状況等を精査しながら、利用しやすく魅力的な制度にするために課内において検討を重ねた。特に平成27年度は奨学金の制度を大幅に見直し、①貸付金額の増額 ②貸付額の選択制導入 ③入学一時金創設 ④償還期間の延長などを盛り込み、当該条例及び条例施行規則の一部改正を行った。</p>
評価及び方向性	<p>今回の奨学金の制度改正により、個々の実情に合った柔軟な利用が可能となったため、新規利用者が増加しピーク時の数字に近づくことができた。</p> <p>条例等改正から間もないこともあり、市民に新たな制度内容を定着させるため、周知活動を弾力的に進めるとともに、他の奨学金との優位性についてもPRしていきたい。</p>

(2)教育のつどい事業 (事業費:271千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	未来を拓く子ども達を育む、より良い教育環境の実現
重点目標	教育の振興と教育環境の充実
事業内容	下野市の教育・文化・スポーツの振興発展に寄与した個人及び団体の表彰や、市内中学校の生徒代表による子ども未来プロジェクトの発表を行う。併せて教育関係者や市民参加のもと、下野市にゆかりのある著名人による講演会等を実施する。
実施状況	<p>(1)教育委員会表彰 教育委員会が学校や関係団体より推薦された、文化・スポーツ分野において優れた功績をのこした方たちを顕彰した。 文化・スポーツ活動優秀優良者個人19名、団体2団体、善行篤行者8名、優秀優良教職員5名、合計32名2団体の表彰を行った。</p> <p>(2)子ども未来プロジェクト発表 生徒の自発的な活動や取り組みの発表の場として、子ども未来プロジェクトの発表を行った。</p> <p>(3)記念講演 栃木県考古学会会長の橋本澄朗氏と生涯学習文化課職員による、下野市市制施行10周年を記念して『「しもつけの歴史と文化」～過去から未来へ～』をテーマに講演を行った。 郷土の歴史を通じて下野市の将来を担う子どもたちに夢や誇りを育む機会を与えていただいた。</p>

評価及び方向性	<p>近年は講演会を目当てに、市内だけではなく近隣市町からの参加者が増えてきている。 講師は下野市にゆかりのある人物と限定しているため、人材の発掘や依頼等に苦慮している状況である。 イベント参加者については教育関係者が多数を占めているため、一般の方にも参加していただけるような企画づくりに努め、広く周知を図っていきたい。</p>
---------	--

(3)小中学校整備改修事業 (事業費:461,192千円)

◇継続評価事業

基本施策	次世代を担う人材の育成
基本方針	未来を拓く子ども達を育むより良い教育環境の実現
重点目標	学校施設の整備
事業内容	<p>(1)空調設備設置工事 地球環境の変化に伴い、特に夏場における暑さ対策は大きな問題となっており、学校施設においても、扇風機だけでは十分な対応ができないため、健康面への配慮とより快適な学習環境を確保する観点から、小中学校への空調設備を設置する。</p> <p>(2)非構造部材修繕工事 学校施設は、子どもたち学習・生活の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、安全性の確保は重要である。 このようなことから、東日本大震災の教訓を生かし、地震発生時における屋内運動場の天井部材・照明器具等の落下防止工事を実施する。</p>
実施状況	<p>(1)空調設備設置工事 市内小学校12校の普通教室をはじめ、一部の特別教室等に空調設備を設置した。 設置に際しては、子どもたちの学校生活に与える影響を最小限に抑えるため、夏休み期間を利用するとともに、工事を8分割して早期完成に努めた。 その結果、夏休み明けの9月から運用を開始することができた。</p> <p>(2)非構造部材修繕工事 国の補助事業を活用し、補助対象となる小学校施設5校・中学校施設1校及び国分寺中学校の屋内運動場について、天井材の撤去・照明器具等の落下防止措置を講じ、教育施設及び避難所施設としての安全性を確保した。</p>
評価及び方向性	<p>空調設備の設置に際しては、多額の経費が必要となるため、補助要望による予算確保に努めるとともに、市内小学校12校への空調設備の設置が完了したことから、中学校施設4校への設置を早急に進める必要がある。</p> <p>また、非構造部材修繕工事においても、落下防止措置の必要な小学校施設4校・中学校施設2校の落下防止措置を早急に講じ、安全確保に努める必要がある。</p>

(1)奨学金貸付事業

- 利用者数が低迷する中、近隣自治体の取組状況等の精査に基づく大幅な制度改正によって利用者数を増加させられたことを高く評価する。一層の増加に向けて、新制度の周知に努められるよう期待したい。
- 個々の実情にあった柔軟な利用が可能となったことは、子どもだけではなく親にとっても有益なことであり、教育の機会均等に対する市の前向きな姿勢がうかがえる。
- ☆ 他の自治体や各機関の奨学金制度に比して、下野市の奨学金制度が有利であることを広くPRし、利用者拡大に努めていただきたい。

(2)教育のつどい事業

- 教育のつどいを生徒の自発的な取り組み(下野子ども力発動プロジェクト事業)の発表の場として位置付けているところを評価する。
- 講演会の講師の選定にあたって、「下野市にゆかりのある著名人」に限定しているところはイベント担当者の苦慮のあとが伺え、コストに対する配慮もなされている。
- 記念講演「しもつけの歴史と文化」は、市制10周年記念にふさわしい魅力的なテーマであった。多数の参加者を得られるよう、今後も引き続き、講演会等を魅力ある内容とされるよう期待したい。
- ☆ 主に教育関係者や保護者が参加しているが、幼稚園や保育所へ通う保護者や職員等にも参加を呼びかけてはどうか。
- ☆ 記念講演会について、教育関係者には関心のある内容であるが、一般の方には馴染まないため、限られた人のつどいになっている。記念講演会の内容について検討をお願いしたい。
- ☆ 会場配布の冊子について、善行篤行者や優秀優良教職員の表彰事由が記載されていない。教育関係者以外の一般の方がどのような理由で表彰されたのかがわかるよう表示をお願いしたい。
- ☆ この事業が長続きすればするほど講演会の人選が困難になることから、「下野市民にどのようなメッセージを伝えるのか」という視点から選定の幅を広げてみてはどうか。

(3)小中学校整備改修事業

- 本事業は、昨年度からの継続評価対象事業である。前年度、学校施設すべての耐震化が完了した後、当年度はさらに、空調設備設置工事と非構造部材修繕工事を進められた。国の補助事業を活用しながら、このように小中学校の設備改修を積極的に推進されていることを高く評価する。
- 予算の確保が困難な中、全小学校の空調設備が設置されたこと、また、設置工事を夏休み中に実施したことは、子どもたち優先の教育的配慮が感じられ高く評価する。
- 空調設備の利用に際しマニュアルを作成し、学校や児童・生徒に共通理解を図っていることを評価する。また、太陽光発電のモニターを設置し、児童・生徒がいつでも見られるようになっていることは、地球環境に関心を持つことに大きく貢献している。

学校教育課

(1) 下野子ども力発動プロジェクト事業 (事業費: 1, 013千円) ◇継続評価事業

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
重点目標	学校教育の充実
事業内容	子どもたちが主体的に協議・交流し、子どもたち自身の手で、子どもたちのためになる運動を展開することにより、主体的に関わり、発信し、行動できる子や「いじめをしない・させない・見逃さない」など、正しい判断のできる子を育てる。
実施状況	<p>(1) 生徒交流会 第1回(6/25)参加者 生徒16名、ワークショップの実施(講師:下野市生涯学習文化課) 第2回(11/21)参加者 生徒19名、グループ協議(エコプランの策定、情報通信機器のルール作り、「教育のつどい」での発表)</p> <p>(2) 児童生徒交流会 各中学校区を中心にあいさつ運動、奉仕作業(クリーン作戦)、小中学校交流(小学校を訪問して、中学生の合唱の披露)を実施した。</p> <p>(3) 中学生手作りによる防災ずきんを小学生に贈呈し、防災教育の一環として各小学校の特別教室に配備した。</p> <p>(4) 全児童生徒の意見を吸い上げ、第2回生徒会交流会において取りまとめ、エコプランを策定した。「気づいたら こ・う・ど・う しょう エコのため」 こ…こまめにスイッチ確認しよう う…うっかり水の出し過ぎ注意しよう ど…どんなものでも大切にしよう う…うちでも、学校でも、地域でも</p> <p>(5) 青少年育成市民会議との懇談を実施し、子ども未来プロジェクトの取組についての情報交換や、ネットトラブルの現状について質疑を受けた。 参加者 生徒18名、教員5名、市民会議12名、学校教育課2名</p> <p>(6) 子ども未来プロジェクト活動の様子をポスターでまとめ、各小中学校や各公民館等へ配布し、周知を行った。</p> <p>(7) 「教育のつどい」において、子ども未来プロジェクトの活動成果を発表した。 市民に向けて「支え合い、わかり合い、心の輪を広げよう」の運動を働きかけた。 参加者 生徒17名、教員4名</p>
評価及び方向性	<p>各中学校区を中心に、小・中学校の交流活動を進めることができた。 児童生徒の意見を生かしたエコプランを策定できたこと、情報機器利用のルール作りの骨子を考えることができた。 今までは、各中学校区での活動が主なものであったが、今回「教育のつどい」において、市内4中学校がまとまって1つの発表を行ったことをきっかけに、今後は下野市として共通の取組を模索し、市全体として活動をしていくことも視野に入れて活動を継続する。効果は期待できる。</p>

(2) 教育研究振興事業 (事業費: 2, 280千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
重点目標	学校教育の充実
事業内容	教育に関する研究調査及び教育関係職員の研修を行い、下野市の教育行政の推進・振興を図る。また、各学校の特色ある教育活動や特別支援教育等の推進、理科研究展覧会の開催、社会科副読本の作成等により本市における教育水準の向上を目指す。

実施状況	<p>(1)市教職員の全体研修会の開催 年3回、4/7、8/7、1/13</p> <p>(2)調査研究会の開催(全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、下野市学習意欲調査の分析。社会科副読本の編集・改訂。小中連携教育研究会等 延べ38回)</p> <p>(3)専門研修会の開催(学習指導主任研修会、教職2・3年目研修、初任者研修等 延べ30回)</p> <p>(4)特別支援教育の推進(特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任、通級指導教室担当者の研修開催)</p> <p>(5)希望研修会の開催(ふるさと学習現地研修、ICT活用研修など 7研修会)</p> <p>(6)特色ある教育活動の推進(学校の創意工夫により行われる教育活動に関する事業に、1事業あたり15万円を上限とし、市で補助を行った。)</p> <p>H27年度採択校(小学校8校、中学校2校)</p>
評価及び方向性	<p>各種研修会を計画的に実施することにより、全教職員への研修の場を提供することができ、市教職員全体の資質の向上を図ることができている。今後も教育施策に沿った研修の機会を提供し、継続的な教職員の資質が向上を図る。それにより、授業が改善され、児童生徒の学力向上にも効果が期待できる。</p> <p>特別支援教育に関する研修会では、特別支援に対するさらなる理解と支援の手立てについて情報を共有し、担当者の資質の向上を図ることができた。今後も特別支援教育の必要な児童生徒への支援は継続する必要がある、そのための教職員の資質の向上が求められ、事業を継続する効果は期待できる。</p> <p>各学校の創意ある特色ある学校教育活動の推進に資することを目的に市が補助を行い、学校における教育活動を活性化できる。環境緑化や地域との交流などによって児童・生徒の個性を伸ばし、感謝する心や郷土を愛する心を育み、教育的効果が期待できる。</p>

(3)エス・アンド・ユーコラボ事業 (事業費:596千円)

基本施策	次代を担う人材の育成
基本方針	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
重点目標	学校教育の充実
事業内容	<p>下野市(S)と宇都宮大学(U)が連携し、各校の学校課題推進や研修体制の充実に向けて専門講師を派遣し、校内研修の充実により教職員の同僚性を高め、教員の授業力の向上を図り、児童生徒の学力向上に資する。</p>
実施状況	<p>(1)指導助言者の派遣 宇都宮大学教育学部と連携して、市内全16校に指導助言者を派遣した。総研修回数42回、派遣指導助言者42名(大学教授35名、宇大付属小教諭7名)。 研修総参加者は延べ912名で1回の研修会に平均22名が参加したことになる。</p> <p>(2)学校間の連携 研修参加者912名の内、校外からの参加者は124名であった。平均すると1回当たり約3名の他校からの参加者があったことになる。校務支援システムを通じて各校が公開授業の案内を掲載したことにより参加者が増加した。</p>
評価及び方向性	<p>平成26年度より市内全小・中学校が本事業に参加するようになり、平成27年度も全校が参加しての事業実施となった。全校において同じように、研究者を招いての教職員の研修の場を提供することができた。この事業により、各校の校内研修を充実させる意識が高くなってきており、教職員一人一人を学校組織で育てていく体制ができてきている。授業研究会ばかりでなく、授業を作る段階から大学の教授に関わっていただいたり、研修会の進め方について指導をいただいたりするなど質の高い研修を行うことができた学校もある。</p> <p>特に若い教職員が増えつつある本市では、教職員の研修の機会を増やすことが教職員の資質の向上につながるため、本事業の実施によって校内研修をもつ機会を増やすことができおり、今後も継続することは効果が期待できる。</p>

(1)下野子ども力発動プロジェクト事業

- 本事業は、昨年度からの継続評価対象事業である。全児童生徒の意見を集約した「エコプラン」の策定や、「教育のつどい」における4中学校合同での活動成果発表の導入といった前年度からの改善があることを高く評価する。
- 中学校間の生徒交流会や児童生徒交流会等、すばらしい活動を行っていることを高く評価する。特に中一ギャップは深刻な問題であるため、これらの活動を通して中学校生活の魅力を小学生に教えていただきたい。
- 前年度の評価課題を受け、小中合同のクリーン活動は「拾う」という発想から「捨てないで」という発想に切り替え、道の駅でPRしたことを評価する。
- ☆ 「子ども力」に視点をあてた事業としては新鮮さを感じる一方、多くの要素が盛り込まれて範囲が広がる傾向にあるため、方向性を見失わないように常に配慮していただきたい。
- ☆ 当該事業の発表(教育のつどい)は市民に向けてのアピールの機会であるが、それ以前に学校自体が「開かれた学校」になっていない。自治会が校長の顔を知らないケースもあるため、「学校だより」の地域回覧等を実施し、地域との連携を図っていただきたい。

(2) 教育研究振興事業

- 教育環境が変容する中で、教師が振り回されることなく、しっかりと子どもたちを指導する視点を持つためには教員の力量を高める研修の場が必要であり、多様な研修の場を提供できたことを評価する。
- 教育研究所が中心となり学力・学習状況調査等を分析し、分析結果を教職員全員が共有し、各学校において指導のあり方を工夫していることを評価する。
- ☆ 教育委員会ではあいさつ運動を積極的に進めているが、地域の方から一部の教職員があいさつをしないという指摘があった。教員の資質向上の研修を受けていながら、このようなことが常態化していることを懸念する。
- ☆ 「特色ある教育活動の推進」については、昨年の採択校が10校であったが、地域の特色を生かした教育活動をさらに推進するため、活動数や採択数を増やしていただきたい。

(3)エス・アンド・ユーコラボ事業

- 教員が学びながら子どもを教えることは非常に大切なことであり、市内全小中学校が参加して宇都宮大学と連携して着実に教職員研修を実施していることを評価する。
- 学校、教育委員会、宇都宮大学との諸条件が合わなければできない事業を相互に連携しながら実施し、広い視点から教師の授業力向上に取り組んでいることを評価する。このような取り組みは広く市民に周知していただきたい。
- ☆ 事業の名称が分かりにくいいため、例えば「エス(下野市)・アンド・ユー(宇都宮大学)」とするなど、市民が一目で分かるような表現にした方が良いのではないかと。
- ☆ 宇都宮大学の教育学部のみとの連携にとどまることなく、地域デザイン学部や工学部等グローバル化に対応できるような幅広い分野と連携する必要があるのではないかと。

スポーツ振興課

(1) 保健体育総務事務事業 (事業費: 8, 723千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	豊かなスポーツライフの実現
重点目標	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の推進
事業内容	市民“ひとり1スポーツ”の推進を目指し、多様化する市民のスポーツに対する要望に応え、子供から高齢者・障がい者までのすべての市民が、それぞれの体力や目的に応じてスポーツに親しみ活動できる環境整備を進めるため、指導員の養成・資質の向上等に努め、スポーツ活動の推進を図る。
実施状況	<p>(1) スポーツ推進審議会を年3回開催し、本市のスポーツ推進の諸施策について審議を行い、下野市スポーツ推進計画案について答申した。</p> <p>(2) 市民スポーツ活動の充実を図るため、スポーツ推進委員会を毎月開催し、各種スポーツ事業調整やスポーツ大会等の運営・協力を行った。また、県主催の研修会への参加や独自の研修会を開催するなど、知識や技術の習得など資質向上に努めた。特に、障がい者スポーツの推進に取り組み、県内初となるスポーツ推進委員会による障がい者スポーツ交流大会を開催した。さらに、シニア世代を対象とした、新たなスポーツ教室を企画実施した。</p> <p>(3) 子どもたちの健全な発達に資するため、市スポーツ少年団登録指導者の中から少年スポーツ指導員(100名)を委嘱した。</p> <p>(4) 総合型地域スポーツクラブの円滑な事業運営を図るため、各クラブに事務局員1名を配置し活動支援を行った。また、クラブの資源を活用し魅力あるスポーツ教室とするため、市が主催していたスポーツ教室(8教室)を総合型地域スポーツクラブに業務委託した。</p>
評価及び方向性	<p>(1) 新たに策定した下野市スポーツ推進計画(10ヶ年計画)については、中間年において、評価検証を行い、市民ニーズに対応した計画の見直しを図る。</p> <p>(2) スポーツ教室を総合型地域スポーツクラブへ委託したこと等により、新たな事業の実施やキンボールスポーツの普及促進に重点を置き進めることができた。今後も引き続き、スポーツ教室等の委託を進めながら、スポーツの推進を図っていく。</p> <p>(3) 少年スポーツ指導員は、県や市スポーツ少年団が主催する研修会・交流会等に参加し、指導技術等の習得に努めている。今後も、児童の健全な発達に資するよう指導員の委嘱を行うとともに、研修会等を開催し指導者の資質向上に努める。</p> <p>(4) 総合型地域スポーツクラブは、地域と密着した事業を実施し、本市の地域スポーツ振興の核となっているが、totoの助成も終了を迎えており、今後、安定した事業運営が図られるよう活動支援を行っていく。</p>

(2) 大松山運動公園拡張整備事業 (事業費: 562, 267千円) ◇継続評価事業

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	豊かなスポーツライフの実現
重点目標	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の推進
事業内容	<p>市民誰もがスポーツを親しみ、健康づくりができる施設や公式大会が行える本格的な陸上競技場を備えた運動公園が未整備であることから、以下の3つを兼ね備えた公園の整備を行う。</p> <p>(1) 多目的に利用する陸上競技場</p> <p>(2) 公園緑地機能を備えた市民に親しまれる公園</p> <p>(3) 防災機能を持つ公園</p>

実施状況	<p>○用地取得 281,087 千円 ※別紙参照 地権者 30 名 筆数 74 筆 面積 48,425 m²</p> <p>○移転補償 194,443 千円 家屋 6 件 ハウス 1 件 その他 5 件</p> <p>○実施設計 73,797 千円 ※別紙参照 公園及び管理棟の詳細設計を実施</p> <p>○民間活力導入調査 5,184 千円 整備事業にどのような民間活力の手法が導入できるか調査を実施</p> <p>○防災機能整備計画策定 1,286 千円 広域避難所として防災機能の強化を図るための計画を策定</p>
評価及び方向性	<p>用地取得は、平成 27 年度について計画通り取得することができました。平成 28 年度は、残りの用地取得を進めたいと考えています。</p> <p>また、家屋の移転も順調に進んでおり、今年 12 月末に全家屋が移転完了する予定です。</p> <p>今後は、実施設計に基づき、今年度から整備工事を始め、平成 31 年度の完成に向けて進めていきます。</p>

(3) 体育施設改修事業 (事業費: 137,490 千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	豊かなスポーツライフの実現
重点目標	市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の推進
事業内容	<p>生涯スポーツは青少年の健全育成、高齢者の健康維持、家族や地域でのコミュニケーションの場や地域の活性化を担っている。</p> <p>市民の多様なニーズやサービスに対応するため老朽化した体育施設の改修を実施し、施設の質や機能を向上させるとともに、市民が安心して利用できる体育施設とするための耐震補強を実施する。</p>
実施状況	<p>(1) 体育館改修事業 55,493,100 円 ・石橋体育センター耐震補強・改修工事</p> <p>(2) 体育施設耐震対策事業 8,931,600 円 ・南河内体育センター耐震補強・改修工事設計業務委託 ・国分寺聖武館耐震補強・改修工事設計業務委託</p> <p>(3) テニスコート改修事業 50,749,200 円 ・国分寺運動公園テニスコート改修事業(分割 2 号)</p> <p>(4) LED 太陽灯設置事業 12,949,200 円 ・石橋体育センター周辺 LED ソーラ灯設置工事 ・国分寺 B&G 海洋センター周辺 LED ソーラ灯設置工事</p> <p>(5) 体育館施設・運動場改修事業 9,366,840 円 ・南河内体育センター変電設備修繕工事 外 9 件</p>
評価及び方向性	<p>実施した改修・修繕工事は、安全確保に配慮しながら工期内に完了した。</p> <p>また、早期発注に心がけ、市民の多様なニーズやサービスに対応することができた。</p> <p>耐震対策について、順次計画に沿って体育施設の耐震補強・改修工事を進めており、2 件の設計業務を委託し、また、石橋体育センターは耐震補強改修工事を実施した。</p> <p>災害時における指定避難所への誘導について、環境への負荷の少ない LED 太陽灯を設置し、停電時の道路誘導を確保した。</p>

(1) 保健体育総務事務事業

- 市民ひとり1スポーツの理念の実現に向け、「下野市スポーツ推進計画(10 か年)」を策定し、中間年(5年後)に評価検証を行うことを評価する。
- 一部の市民のためのスポーツとならないよう、子どもから高齢者、障がい者まで広く市民の要望に耳を傾けたスポーツの推進を図っていることを評価する。
- 行政では限界のあるきめ細かな指導を実施するため、総合型地域スポーツクラブに業務委託し、地域に密着した事業を展開していることを高く評価する。
- 少年スポーツ指導員は研修に積極的に参加しているので、今後とも指導者の資質向上に努めていただきたい。
- ☆ 子どもたちが目先の勝利に固執して健康を損ねないよう、生涯スポーツの楽しさを教えていただきたい。また、スポーツを通して子どもたちの心を育てる工夫が必要である。
- ☆ 総合型地域スポーツクラブにおける toto の助成が終了するため、市独自の補助を創設し引き続き支援をお願いしたい。
- ☆ 体力向上だけでなくコミュニティづくりにも有効なラジオ体操を、下野市全域に普及することを提案したい。
- ☆ 夜間照明や使用料の減免が認められているが、子どもの場合帰宅が遅くなり学習等に影響を与える恐れがある。夜間使用の制限をするべきではないか。

(2) 大松山運動公園拡張整備事業

- 本事業は、昨年度からの継続評価対象事業である。前年度に策定された基本設計に基づき、平成 31 年度の完成に向けて、用地取得や家屋移転交渉が順調に進んでいることを高く評価する。
- 公式大会が実施できるスポーツ施設が身近に存在することは、子どものみならず大人にとってもこれまで以上に夢が広がる可能性が大きい。
- ☆ 陸上競技場の利用は限られた方になってしまうが、市民体育祭の実施等を検討し、多くの市民が親しめる施設になるよう工夫していただきたい。
- ☆ 管理運営は指定管理で実施することになっているが、利用方法についてはよく協議・検討を行い、市民にとって使いやすい運動公園にしていただきたい。
- ☆ 労務費や資材単価の高騰により総事業費が増加することが懸念されるため、可能な限り事業費の圧縮努力を図っていただきたい。
- ☆ 杉並木を残す予定となっているが、花粉症や立ち枯れによる倒木の問題があるため、広葉樹に植え換えるなどの工夫が必要ではないか。

(3) 体育施設改修事業

- 施設のほとんどが合併前のもので老朽化が進んでいるが、限られた予算の中で利用者目線に立った改修を行っていることを高く評価する。
- 利用率の最も高い時期にテニスコートの改修を行ったため、一部の利用者から不満の声があったが、結果的には環境の良いテニスコートが早期に完成したことを喜ぶ利用者が多かった。
- 体育施設の耐震補強・改修工事と災害時指定避難所への道路誘導の確保を計画的に進められていることを高く評価する。
- ☆ 体育施設の地震対策は急務であり、指定避難所を兼ねている施設もあることから、一刻も早い耐震工事の実施をお願いしたい。

生涯学習文化課

(1) 生涯学習推進計画策定事業 (事業費:1,234千円)

基本施策	生涯にわたる学びの機会の充実
基本方針	生涯学習の推進
重点目標	生涯学習推進事業
事業内容	<p>平成27年度をもって、市生涯学習推進計画(第一次)の計画期間が終了することから、国や県の生涯学習施策や社会情勢を踏まえ、生涯学習のさらなる振興を目指し、平成28年度から平成32年度までの5年間の計画期間とする第二次計画を策定した。</p> <p>計画案作成に当たっては、生涯学習推進本部長(市長)から生涯学習推進協議会に対し諮問を行った。</p>
実施状況	<p>(1)生涯学習推進協議会の開催(計6回)</p> <p>(2)20歳以上の市民2,000人と市内で活動するサークルやボランティアなど300団体を対象として「下野市の生涯学習に関するアンケート調査」を実施。</p> <p>(3)生涯学習推進協議会専門部会による、これからのまちづくりに必要な学習課題の検討(ワークショップ)</p> <p>(4)アンケート及びワークショップ結果を踏まえた生涯学習推進計画(第二次)素案の検討(生涯学習推進協議会)</p> <p>(5)生涯学習推進協議会の答申結果に基づいた計画案の検討(生涯学習推進本部)</p> <p>(6)計画案に対するパブリックコメントの実施</p> <p>(7)パブリックコメント結果の反映</p>
評価及び方向性	<p>計画案作成に当たっては、市民アンケートやワークショップの意見を基に、推進協議会で検討するなど、幅広い市民の意見を取り入れることができた。第二次計画の内容については、市民への多様な学習機会の提供に加えて、市民が培った学習成果を活かした協働のまちづくりの実現を目指すなど、第一次計画をさらに発展させた内容となっている。</p> <p>今後は、各事業の取組状況の把握や市民ニーズに即した改善を図りながら第二次計画の進捗を管理していく。</p>

(2) 芸術文化事業 (事業費:5,026千円)

基本施策	豊かに暮らす文化の振興
基本方針	文化・芸術活動の促進
重点目標	芸術文化事業
事業内容	<p>市民の芸術文化活動の活性化を図り、市内小中学校の児童生徒に質の高い芸術文化を鑑賞する機会を提供することを目的とする。しもつけ市民芸術文化祭や小中学校芸術文化鑑賞会の開催、下野市文化協会の活動支援を行った。</p>
実施状況	<p>(1)小中学校芸術文化鑑賞会(報償費、委託料ほか3,432,452円) 次世代を担う児童たちを対象に、各会場にて演劇鑑賞等を開催した。日頃なかなか見ることができない生の演劇等を鑑賞することができ、舞台芸術への興味や関心が高まった。 小学校4会場(7校)1,712人、中学校4会場(4校)1,798人</p> <p>(2)しもつけ市民芸術文化祭実行委員会(補助金 943,718円) 下野市政施行10周年記念事業として、通常より盛りだくさんな内容で実施。記念文化講演会「栃木の方言と文化」嶋均三氏や、グリム♪ミュージックフェアでの栃木県警察音楽隊による演奏会、3会場を巡るスタンプラリーは、特に多くの来場者で賑わい、好評を得ることができた。</p> <p>(3)下野市文化協会(補助金 650,000円) 文化活動を通して、文化団体相互の連絡調整と会員相互の親睦融和を図ることを目的に、文化協会が主催する各種事業を開催した。 加入団体68団体、団体会員数961名、個人会員14名</p>

評価及び方向性	<p>芸術文化についての取組方針については、下野市教育振興計画で「市民が文化的に豊かな市民生活を送ることができる環境づくり」として位置づけられており、これまで、上記のような各種文化活動の支援を行ってきた。</p> <p>今後は、子どもから高齢者まで、市民の誰もが身近に芸術文化にふれあえるまちづくりを目指し、継続的に各種文化芸術活動の成果発表の機会や優れた舞台芸術を鑑賞できる機会の充実を図っていく必要がある。</p>
---------	---

(3) 甲塚古墳保存整備事業 (事業費:926千円)

◇継続評価事業

基本施策	豊かに暮らす文化の振興
基本方針	文化遺産の保存と活用
重点目標	甲塚保存整備事業
事業内容	平成15年度に甲塚古墳の発掘調査で出土した埴輪群の今年度、国重要文化財指定に向けた業務を文化庁・県教育委員会の指導を受けて実施。
実施状況	<p>【年度・作業内容】</p> <p>26年度以降、甲塚古墳保存整備委員会から国重要文化財指定に相当する資料群であるため、指定に向けた取り組みを進めるよう指示を受けたため、平成27年度には、8月と2月に直接文化庁担当者の立ち合い指導を受け、重要文化財指定に向けた調書等の作成を進めた。</p> <p>※平成28年度も文化庁職員の立ち合い作業を2回予定している。</p>
評価及び方向性	<p>全国初の機織形埴輪の出土と復元率の高い多くの資料が話題性を呼び、平成27年度に県から移管を受け保管展示している、しもつけ風土記の丘資料館も来館者が増加している。さらに「下野市の文化財」としてシティセールスの一助にもなっている。この話題性を受け27年度には、文化庁主催の「発掘された日本列島2015」(6月上旬～2月下旬まで東京都、富山県、栃木県、岡山県、岩手県の五会場)に出展した。最終的な入館者数は136,000人に上り、これまでの歴代3位の入場者数、21回目の開催、記念開催を除くと入館者数第1位となった。</p> <p>28年度も、重要文化財指定に向けた作業を継続して進める。</p>

(4) 歴史文化基本構想策定事業 (事業費:1,078千円)

基本施策	豊かに暮らす文化の振興
基本方針	文化遺産の保存と活用
重点目標	歴史文化基本構想策定事業
事業内容	国史跡である下野薬師寺跡、下野国分寺跡、小金井一里塚や丸塚古墳や児山城などの県指定史跡などを含めた105件の文化財のほか、今後、市、県の文化財としての指定が想定される有形・無形・民俗・記念物などの文化財候補を総合的に把握し、生かすことで地域のアイデンティティの形成、地域の絆の維持、地域の魅力の発信とともに、一体的な保護を進めるため、平成25年度から歴史文化基本構想の策定を行った。
実施状況	<p>【年度・作業内容】</p> <p>平成27年度 策定検討委員会の開催。3回開催(11・1・3月)。(構成委員別紙参照)</p> <p>アンケート調査の実施。(生涯学習推進計画策定に関するアンケートに含めた調査、しもつけ風土記の丘資料館講座開催時の聞き取り調査等)</p>

評価及び方向性	<p>策定後、完成した計画は今後、当市における歴史・文化を生かしたまちづくりの中心的計画となる。また、旧3町に点在する文化財を様々な角度で分類した後、融合することで点としての文化財を面的な広がりとしてとらえることが可能となり、さらに隣接する市町と広域的な連携を図ることですらなる文化財の活用が図られる。このほか、市内県内の児童・生徒のための学習活動や社会教育等における活用までを考慮した計画構成とする。</p> <p>このほか、教育のみでなく、シティセールスの一環として、文化遺産を生かした観光等の促進も期待されており、「まちづくり」事業の一つの骨子となることが予想される。</p>
---------	---

生涯学習文化課の事業に対する外部評価委員の意見

☆ 今後検討を要する事項

<h3>(1)生涯学習推進計画策定事業</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画策定に当たり膨大な時間とエネルギーを費やし、コンサルタントに頼らず僅かな費用と市のスタッフだけで、立派な計画書を作成されたことを評価する。 ○ 市民アンケートやワークショップを実施し、幅広い市民の意見を取り入れて策定出来たことを評価する。 ☆ 生涯学習推進協議会等の議事録が作成または公表されておらず、開かれた教育委員会という姿勢が問われかねないため、改善を求める。 ☆ 第二次推進計画の策定の経過よりも、特色や今後の展開等についてもう少し具体的な表現(第一次計画との違いについて等)があった方が市民に理解されるのではないか。 ☆ 65歳以上の団塊世代が地域に戻ってきているため、これらの人材を発掘し、学んできたことや経験等を地域や町づくりに役立てていただきたい。
<h3>(2)芸術文化事業</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 次世代を担う小中学生に、常日頃見ることのできない芸術文化の鑑賞会を実施し、興味や関心を促していることを評価する。 ○ 市制10周年を記念して「しもつけ市民芸術文化祭」の内容を特に充実させ、多くの来場者を得たことを高く評価する。今後も継続して魅力ある内容とされるよう期待したい。 ☆ 芸術文化鑑賞会は2年に1回であるため、中学校のように毎年実施できるよう予算の確保をお願いする。 ☆ 芸術文化を奨励し、市民の意欲喚起のために、公民館活動等で作られた絵画や作品が直接市民の目に触れるような様々な展示場所や機会を検討していただきたい。
<h3>(3)甲塚古墳保存整備事業</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業は、昨年度からの継続評価対象事業である。機織型埴輪は、前年度までの各種メディア取材対応の努力を経て、当年度は文化庁主催「発掘された日本列島2015」に出展され、特別に大きな注目を集めた。このことを高く評価する。 ○ 「発掘された日本列島2015」に甲塚古墳の埴輪が全国規模で展示され、栃木県立博物館においては、延べ12,754名の来場者があったことを評価する。 ☆ 興味のある一部の市民だけでなく、興味のない市民にも身近な文化財として認知される展示や広報に努め、全国的な「シティセールス」の資源としても活用していただきたい。 ☆ 今後は重要文化財指定に向けて、より一層の整備を推進していただきたい。

(4) 歴史文化基本構想策定事業

- 市内の文化財等を生かすための歴史文化基本構想の策定に向け、策定検討委員会を設けて検討を開始されたことを高く評価する。
- 下野市ならではの歴史文化に向き合い、点としての文化財を面的な広がりとして捉え、保存と活用の両面から進めていることを評価する。
- ☆ 今後は歴史文化基本構想を観光の目玉として活用し、地域おこしとなるように自治会や地域住民の理解や協力を求めるとともに、市の観光協会や商工会等と協働して、まちづくりに生かしていただきたい。



教育委員会表彰（教育のつどい）



小学校空調設備設置



あいさつ運動（子ども未来プロジェクト）



小中合同研修会



大松山運動公園管理棟 完成予想図



発掘調査現地説明会

9. 外部評価委員会委員

◎委員長

氏 名	所 属 等
◎ 上 原 秀 一	学識経験者（宇都宮大学教育学部准教授）
五 月 女 洪	学識経験者（社会教育委員長）
津 野 田 久 江	学識経験者（人権擁護委員）
古 島 淑 子	学識経験者（元小山市立羽川小学校長）
小 島 恒 夫	公募委員

10. 外部評価委員会による総合意見

この点検・評価は、下野市総合計画に位置づけられた主要施策のうち、教育委員会所管事業の内部評価を経た13項目（平成27年度事業）について行ったものです（4項目は継続評価）。外部評価委員会では、これらの13事業についてのヒアリングを実施し、評価については会議終了後に各委員が文章をもって提出いたしました。

教育委員会事務局において、提出された評価の中から、評価する点や今後一層の改善が期待される点などを事業ごとに集約し、各課の「事業に対する外部評価委員の意見」として取りまとめを行っていただきました。

施策1 次代を担う人材の育成

「知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「下野子ども力発動プロジェクト事業」（継続評価）については、小中合同のクリーン活動の改善など前年度からの改善があることなどを高く評価する意見が出されました。一方、学校と地域との連携を促進しつつ実施することなどを期待する意見が出されました。「教育研究振興事業」については、多様な教員研修の場を提供できたことや学力・学習状況調査等の分析結果が共有されていることなどを高く評価する意見が出されました。一方、「特色ある教育活動の推進」の採択数を増やすことなどを期待する意見が出されました。「エス・アンド・ユーコラボ事業」については、市内全小中学校が参加して宇都宮大学教育学部と連携して教職員研修を実施していることなどを高く評価する意見が出されました。一方、事業の名称を分かりやすいものに改めることや、宇都宮大学の他学部とも連携することなどを期待する意見が出されました。

「未来を拓く子ども達を育む、より良い教育環境の実現」を基本方針とする評価

対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「奨学金貸付事業」については、柔軟な利用を可能にし利用者数を増加させたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、奨学金制度を広くPRすることなどを期待する意見が出されました。「教育のつどい事業」については、生徒の自発的な取り組みの発表の場として位置付けていることや、講演会の講師の選定においてコストに配慮しながら努力していることなどを高く評価する意見が出されました。一方、教育関係者以外の参加拡大に向けて努力することや表彰において理由を記載するようにすることなどを期待する意見が出されました。「小中学校整備改修事業」（継続評価）については、予算の確保が困難な中、全小学校に空調設備を設置したことや、空調設備の利用方法について共通理解を図っていることなどを高く評価する意見が出されました。

施策2 生涯にわたる学びの機会の充実

「生涯学習の推進」を基本方針とする「生涯学習推進計画策定事業」については、各委員から、僅かな費用で立派な計画書を作成したことや、幅広い市民の意見を取り入れたことなどを高く評価する意見が出されました。一方、議事録の公表などにより生涯学習推進協議会を開かれたものとするよう工夫することや、計画をよりよく市民に理解してもらうよう努力することなどを期待する意見が出されました。

「豊かなスポーツライフの実現」を基本方針とする評価対象3事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「保健体育総務事務事業」については、「下野市スポーツ推進計画」を策定したことや、総合型地域スポーツクラブに業務委託し、地域に密着した事業を展開していることなどを高く評価する意見が出されました。一方、スポーツを通して子どもたちの心を育てる工夫をすることや、ラジオ体操を普及することなどを期待する意見が出されました。「大松山運動公園拡張整備事業」（継続評価）については、用地取得が順調に進んでいることなどを高く評価する意見が出されました。一方、多くの市民が親しめる施設になるよう工夫することや、事業費の圧縮努力をすることなどを期待する意見が出されました。「体育施設改修事業」については、限られた予算の中で利用者目線にたった改修を行っていることなどを高く評価する意見が出されました。一方、指定避難所を兼ねている施設もあることから、一刻も早い耐震工事の実施を期待する意見が出されました。

施策3 豊かに暮らす文化の振興

「文化・芸術活動の促進」を基本方針とする「芸術文化事業」については、各委員から、次世代を担う小中学生に、常日頃見ることのできない芸術文化の鑑賞会を実施し、興味や関心を促していることなどを高く評価する意見が出されました。一方、芸術文化鑑賞会を毎年実施することや、公民館活動等による作品が直接市民の目に触れるような展示場所や機会を検討することなどを期待する意見が出されました。

「文化遺産の保存と活用」を基本方針とする評価対象2事業について、各委員から、次のような意見が出されました。「甲塚古墳保存整備事業」（継続評価）につ

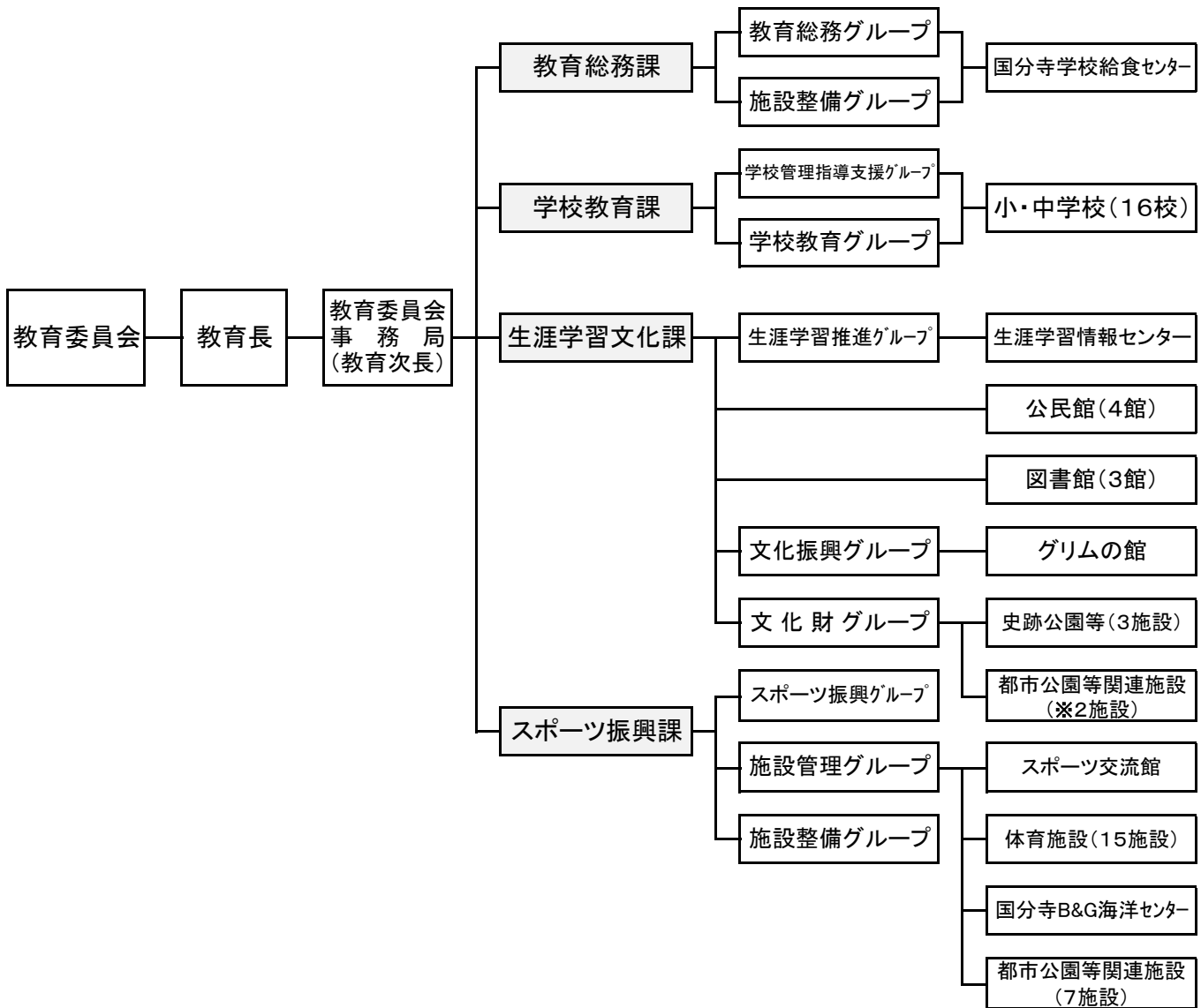
いては、機織型埴輪が文化庁主催「発掘された日本列島2015」に出展されたことを高く評価する意見が出されました。一方、興味のない市民にも身近な文化財として認知される展示や広報に努めることや、重要文化財指定に向けて、より一層の整備を推進することなどを期待する意見が出されました。「歴史文化基本構想策定事業」については、下野市ならではの歴史文化に向き合い、点としての文化財を面的な広がりとして捉え、保存と活用の両面から進めていることなどを高く評価する意見が出されました。一方、自治会や地域住民の理解や協力を求めることなどを期待する意見が出されました。

下野市教育委員会は、活動の活性化に向けて積極的な取り組みを続けて来られました。今回の点検・評価において各委員が示した意見を参考としつつ、今後の一層の事業の発展を図られるよう期待します。

関係資料

1. 下野市教育委員会事務局組織図
2. 下野市教育委員会点検評価に関する条例

下野市教育委員会事務局組織図



【各施設明細】

◆小・中学校

- 1 薬師寺小学校
- 2 吉田東小学校
- 3 吉田西小学校
- 4 祇園小学校
- 5 緑小学校
- 6 石橋小学校
- 7 古山小学校
- 8 細谷小学校
- 9 石橋北小学校
- 10 国分寺小学校
- 11 国分寺西小学校
- 12 国分寺東小学校
- 13 南河内中学校
- 14 南河内第二中学校
- 15 石橋中学校
- 16 国分寺中学校

◆公民館

- 1 南河内公民館
- 2 南河内東公民館
- 3 石橋公民館
- 4 国分寺公民館

◆図書館

- 1 南河内図書館
- 2 石橋図書館
- 3 国分寺図書館

◆史跡公園等

- 1 下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場
(下野薬師寺歴史館)
- 2 小金井一里塚

◆体育施設

- 1 南河内球場
- 2 五千石球場
- 3 西坪山球場
- 4 南河内テニスコート
- 5 南河内ゲートボール場
- 6 南河内東部運動広場
- 7 南河内体育センター
- 8 南河内東体育館
- 9 南河内武道館
- 10 石橋体育センター
- 11 石橋武道館
- 12 石橋弓道場
- 13 国分寺聖武館
- 14 国分寺武道館
- 15 国分寺静思館

◆都市公園等関連施設

- 1 別処山公園
- 2 祇園原公園
- 3 諏訪山公園
- 4 大松山運動公園
- 5 国分寺運動公園
- 6 柴公園
- 7 みのわ古城公園
- 8 ※下野国分尼寺跡公園
- 9 ※下野国分寺跡
(しもつけ風土記の丘資料館)

○下野市教育委員会点検評価に関する条例

平成25年3月22日

条例第11号

改正 平成27年3月20日条例第20号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、下野市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価（以下「点検評価」という。）を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、その実施に関する必要な事項を定めるものとする。

(平27条例20・一部改正)

(点検評価の対象)

第2条 点検評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務事業全般とし、下野市教育計画に掲げた施策事業のうち、教育行政の推進上での主要事業、その他点検評価を行うことが必要と認める事業とする。

(点検評価の実施)

第3条 点検評価は、毎年度1回、対象事業の取組状況、実施による成果及び課題等を分析検討の上、今後の取組の方向性を明らかにするものとする。

(外部評価委員会の設置)

第4条 教育委員会は、前条の点検評価の実施に関し、その客観性の確保を図るとともに、法第27条第2項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会点検評価外部評価委員会（以下「外部評価委員会」という。）を設置する。

(外部評価委員会の所掌事務)

第5条 外部評価委員会は、教育委員会の実施した点検評価について、意見を述べるものとする。

2 外部評価委員会は、前項の意見について、取りまとめた結果を教育委員会に報告するものとする。

(外部評価委員会の組織)

第6条 外部評価委員会は、5人以内の委員で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 教育委員会が必要と認めた者

2 外部評価委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

3 外部評価委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

4 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

5 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指定する委員がその職務を行う。

(報告及び公表)

第7条 教育委員会は、点検評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に報告するとともに、市民へ公表するものとする。

(庶務)

第8条 点検評価の実施に関する庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、点検評価の実施に関して必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月20日条例第20号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年度（平成27年度事業） 栃木県下野市教育委員会点検・評価報告書

お問い合わせ先

発行者 栃木県下野市教育委員会

編集 教育総務課

〒329-0492 栃木県下野市笹原26番地

電話：(0285) 32-8917 / FAX：(0285) 32-8610

E-mail：kyouikusoumu@city.shimotsuke.lg.jp

ホームページ：http://www.city.shimotsuke.lg.jp